

十八 日山石

由良山石の出る由良山―その南に三谷三郎―讃岐で三番目の大池―三谷池がある。池の周辺には、日山（火山）、上佐山（王佐山）馬山、実相寺山などが孤立的に並んでいる。

高松の南方―平野に浮かんで見える山塊がそれである。

これらの山々は、みな由良山に似た、軟質の黒雲母安山岩からできている。そのうち、三谷池の堤の西端にある日山―そこには由良山のような柱状節理を示す、大断崖の石切場のあとがある。今は茂った樹木の蔭にかくれているが、車が一台やつと通れる程の道をはさんで、すぐ三谷池に面している。

ここから切り出された石は由良石や舟岡石とともに、随分、この地域の土木普請に多く使用されたものだ。

場所が、三谷池の堤に続くところだけに三谷池の池普請にもこの石が利用されたのかも知れない。

三谷池は、寛永五年、西島八兵衛の普請である。その後享保十六年にも大々的に改修されているので、ともかく、そのどちらかの築造普請にはこの丁場が活況を呈したことであろう。

土地の人の話では、大正時代までここで採石されていたとのことだったが、今は青葉がくれになって、付近の人々からも忘れ去られようとしている。

石質は由良石に似た軟質の黒雲母安山岩である。

十九 船岡石

三谷池の西方には住蓮寺池―前池―平家池―船岡池と高松平野を潤す、主要な灌漑溜池が東西に連なるように並んでいる。その西端、船岡池のところに小丘が